

## 第4回 和泉市入札等監視委員会(会議概要)

開催日時	平成20年9月10日(水)午後1時40分から午後2時40分
開催場所	和泉市役所1号館3階公室
出席者	委員:弁護士、大学教授、警察OB(全委員) 事務局:総務部長、契約課長、契約課課長補佐、契約課職員 合計7名
審議対象期間	平成20年4月1日から平成20年7月31日まで
議題	議案審議 (1)入札・契約手続きの運用状況について (2)入札方法別抽出工事案件審議
審議概要	<p>1. 入札・契約手続きの運用状況について          前回の委員会(5月28日)以降の入札・契約手続きの運用状況について説明。          一点目は、最近の鋼材類と燃料油の高騰に鑑み、8月15日から工事請負契約における単品スライド条項を適用し、鋼材類と燃料油の上昇分の内、工事費の1%を超える部分を市が負担することを説明。          二点目は、最低制限価格の算出方法について、国や中央公契連モデルが見直しを行ったことに伴い、本市においても、10月1日から同じ算出方法で見直しを行ったことを説明。具体的には、最低制限価格の算出方法を、直接工事費の95%、共通仮設費の90%、現場管理費の60%、一般管理費の30%に変更した。</p> <p>2. 入札方法別抽出工事案件審議          下記の5件について審議。なお、今回は、制限付き一般競争入札と随意契約については、対象案件はなかった。          ・公募型指名競争入札案件            市立南池田小学校耐震補強等工事          委員から、この工事は設計金額が高く、もっと参加業者が多くていいのに、他の耐震補強工事に比べ入札参加業者が少ないのは何故かとの意見があった。事務局からは、当該補強工事はピタコラム工法という特許工法で実施するため、下請負金額が工事費の過半(4500万円以上)を占めることが確実であり、そのため、入札参加条件に特定建設業の許可業者(建築Aで6社登録有)であることを追加したため、参加業者が少なくなったことを説明した。</p> <p>・指名競争入札案件            市立国府第一保育園4才児室空調機設置工事            市立緑ヶ丘保育園4才児室空調機設置工事          上記2つの入札結果をみると、どちらも同じような工事であるのに、国府第一保育園の方は落札率が低く、緑ヶ丘保育園の方は高くなっている。この原因は何か?事務局としては、推測でしか言えないが、落札率が低い方の工事には準市内業者が入っている。本市では、準市内業者の指名は3回に1回というルールがあり、指名されれば技術者の有効活用等を考え、最大限努力した結果低くなったのではないかと考えている。            市立鶴山台南小学校給食室ルーファン取替工事          設計金額が低いいため、指名業者数は少ないが、入札参加業者4社の内3社辞退で、1社が予定価格で落札している。これはどういう訳か?これについては、他の委員から、積算が厳しいのではという意見もでた。事務局としては、これも推測でしか言えないが、設計金額が低く利益が出にくい中で、金額の割に工期が比較的長く、その間技術者が拘束されるのを避けるため、辞退という行動に出たり、入札金額が高くなったのではないかということを説明。また、積算については、どの工事も同じ積算体系で行っており、この工事だけ厳しいことはないと説明した。</p> <p>  唐国町6号線道路整備工事          委員から、当該工事は土木維持管理室発注の工事であるが、同じ土木維持管理室発注の工事に比べて落札率が高くなっているとの指摘があり、その理由を聞かれた。事務局としては、既存道路の拡幅工事であり、施工延長が短いのに、工種が多く、作業効率が悪いため、業者側の積算が厳しくなったのではないかと説明した。</p>

審 議 概 要

その他  
・委員から、柏原市の事件(競売入札妨害(偽計)で複数の業者が逮捕された事件)が話題となり、このようなことが和泉市で起こった場合どうするのかという質問があった。市としては、このようなことが、仮に発生した場合は、その時点ですぐに何らかの対応をしていかなければならない旨を説明した。